

上六福祉だより

第47号

平成29年12月

上六人部自治会長協議会

会長 大槻

今年も、はや一年が暮れようとしています。

寒さ厳しき折柄、皆様におかれましては益々ご清栄の事とお慶び申し上げます。

師走を迎えて何かと気忙しい時ですが、今年も、会長はじめ民生児童委員の皆様、各部の部員の皆様のおかげをもちまして、広報・研修・福祉活動等の事業を順調に実施していただきまして誠にありがとうございます。

今後とも上六人部福祉協議会への皆様のご理解、ご支援を頂きながら、より住みやすい元気な上六人部地域を目指していきたいと願っております。

上六人部小学校の閉校まで、残すところあと3か月余りとなりました。

これまで多くの「見守り隊」の皆様のご協力により、子供たちが毎日安心して通学することが出来ました。

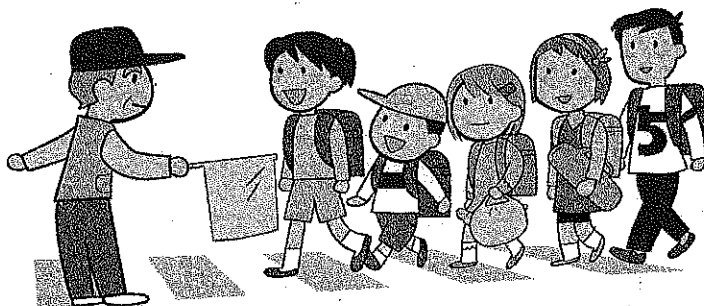
今回、12名の「見守り隊」の方々にこれまでの思い出を振り返っていただくとともに、子どもたちへの温かいメッセージもお寄せいただきましたのでご紹介させていただきます。(順不同)

① お名前 (敬称略)

② お住まいの地域

③ 見守り隊としての活動の中での思い出、印象的な出来事

④ 子どもたちへのメッセージ



① 足立

② 堀越

- ③ 平成18年4月、上六っ子見守り隊が発足し、当時は登録メンバーも200人を超す大所帯でした。しかし児童と一緒に登下校する今の体制をとってからは30人ぐらいになり、初代見守り隊隊長に任命されてからは、メンバーの確保に大変苦労しました。上六駐在所の飛松部長とワンワンパトロール隊を呼びかけたのも苦肉の策でした。おかげで多くの方々のご理解を頂き、見守り隊の活動もしっかりしてきました。

現在、生野の梶村2代目隊長にバトンを渡し、都合のつく日は三俣橋に立っています。元気な子どもたちを見ながらいつも思うのは、「子どもの人数が減ったなあ」と寂しい気持ちです。

- ④ 毎朝元気よく「おはようございます。」と声をかける子ども達。来年4月からは下六人部小学校に通いますが、学校が変わっても、いつも元気で明るく堂々と過ごしてください。そして1日も早く新しい学校に慣れて、沢山の友達を作ってください。沢山の思い出を作ってください。

① 三ッ井

② 堀越

- ③ 朝7時30分頃、登校通過に合わせて家を出て、待つのが通常、雨の時も寒い時も元気で歩く子どもたち。見守り隊発足から今日まで見守ってきました。特に雪の降った時は朝6時前後より雪をかき、少しでも歩きやすいようにと、又、次の日は凍結しないようにと融雪剤をまいた時もあった。

- ④ 今後も身体に、自動車に気を付け、元気で下六人部小学校へ通ってください。

① 鳥川

② 萩原

③ 一年生を迎えた日の第一声が「おい、見守り！」でした。小悪魔の洗礼に喝を入れた事、重たいランドセルに足を取られ溝に落ちた事など思い出されます。

私が凍結した雪道で滑って転んだ次の日「今日は滑らんといてよ！」と心配してくれ「見守られ隊になった」と笑った日も痛かったけどいい思い出です。

④ 三六合同で幾度となく学習をして顔見知りがいっても不安はあると思います。プレッシャーに押しつぶされないようやる気を伸ばし充実と言う実を沢山付けて下さい。応援しています。

① 高橋

② 萩原

③ 見守り隊を、私の体力維持に利用させて頂いています。毎朝子ども達と毎日の生活の様子を聞いたりして、長い距離を楽しく歩いています。

又、他の見守り隊の方々とのおしゃべりは癒しの時間になっていて、心より感謝しています。

④ 毎朝、元気な顔を見せてもらって、いっぱいお話してください。どんなお話でも聞かせてもらいますヨ。これからも宜しく、仲良くしてください。

① 梶村

② 生野

③ 上六っ子見守り隊の隊長を、2年前に引き継ぎましたが、仕事があるため子供達と登校、下校、立ち番は出来ません。

暑い日、寒い日、雨の日、雪の日も毎日子供達と歩いておられたり立ち番をされていると、頭が下がります。

見守り隊が出来てから、今まで事故や事件もなく来れたことは、今日までの隊員の皆様のお陰だと思っています。

① 井本

② 上野

③ 過去数十年を振り返りますと思い出話は尽きません。毎朝子ども達から一日の活力がもらえました。

- 登校時女兒に草原で傘の陰でおしっこをさせたり、空き家の便所を借りたこと。
- 携帯で子どもの異常を知らせたこと(体調、忘れ物)。
- 現代少子化の中で稀な激しい兄弟げんかを大人数で仲裁したこと。
- 各児童の話の中からその子の持つ特徴(かなり専門的知識)がつかめたこと。
- 各家庭のあり様が子どもの態度から伝わってきたこと。
- 猿との遭遇に不安を感じたこと。
- 雪の多い日、地域の方々の雪かき、薬剤散布の協力で強い支援の力を感じたこと etc.

④ 周りの人と同じではなく自分にしかできない力を早く見つけて自信を持ってたくましく伸びてほしいと願います。

地域の大人はいつもじっと君達を見ています。

① 飛松

② 生野(上六人部駐在所)

③ 私が上六人部駐在所に異動してきた時に 6 年生だった児童が今では高校生になり、学校までの道のりが遠く、途中で通学班から遅れそうになっていた 1 年生が今では下級生の手を引いていたり、皆さんがたくましく成長する姿を近くから見させていただき感謝しています。

④ 先日行った上六人部小学校での最後となる防犯教室でもお話しさせて頂きましたとおり、小学校が変わっても、皆さんを見守ってくださる上六人部地域の方々は今でも変わらずに皆さんを見守ってくださります。

上六人部小学校でのたくさんの思い出を胸に、輝かしい学校生活を迎えてください。

① 荒田

② 三俣

③ ランドセルが歩いているような1年生が、学年を上がるに従って成長していく姿が見られたことは、驚きと喜びでした。毎日挨拶して元気をもらいました。また、中学生や高校生になっても、お互いに挨拶できるようになったことは、うれしいことでした。

④ 大勢のクラス、学年になるので初めはとまどうと思いますが、すぐに仲良くなれます。勉強に遊びに仲よくはげんで下さい。

① 今川

② 三俣

③ 見守り隊発足時から登校時のみですが、活動をしています。

孫二人が次々と入学、卒業しても、「おはよう」の爽やかな声にひかれて、続けました。黄色のカバーのランドセルを重そうにしていた1年生が、六年生になると大きな背中にチョコンとかけ立派なお兄さん、お姉さんとなった姿が、当然のことながら頼もしく、嬉しく感じていました。

④ 下六人部小学校に行ったら、たくさんの友達となかよくして、勉強、運動、遊びなど楽しく過ごしてください。

① 高山

② 三俣

③ 私が見守り隊をして10年、市内から越してきて、何もわからない時、孫(高校1年)が上六小へ入学と同時に、一緒に歩いたのがきっかけでした。今では、子供達と、テレビのニュースの事等の話を聞いたりして歩いています。中学校、高校の人も元気にあいさつして行ってくれます。

④ 寒さがまして、家を出るのがだんだんと遅く、集合時間が遅れることがあります。地域の皆様に大きな声で行き帰りにあいさつが出来ればと思います。みんなかわいい孫たち、元気に学校へ行きましょう。

① 足立

② 三俣

- ③ 今、私は市道三俣1号線の小学校下の交差点に立っている。そこは今から70年前に下校中の児童が交通事故で亡くなられた場所である。登校する児童に「斜め横断をしないように」と説教をしている。変なおじさんが立っているとしか映っていない。三俣の人も「警察をやめてまだ警察のつもりなのか」と冷ややかな反応だった。

平成16年、奈良県で下校中の小学1年生が誘拐され殺害された。「子どもの安全を地元で守る」風潮が高まった。福知山市でも平成17年から各学区単位で(見守り隊)が誕生するようになり、上六においては当時のPTA会長の故今川さんが中心となられて組織づくりが始まった。警察のホームページによると「上六っ子見守り隊」は平成18年結成、構成員は保護者、警察OB、自治会員等で145人となっている。構成員には活動時に被る見守り隊の帽子が配られた。

当時の説明では登下校時だけでなく、常に帽子を被り見守りを行う組織とされていた。その年の3月、自治会から交通安全協会の役員をお受けした。何をするのか安全協会に尋ねると「児童の登下校時の『旗振り』をしておられる人もいます」と、教えてもらった。変なおじさんの話をして、腕章と旗をお願いすると、「買って欲しい」と言われたので腹が立って買わなかった。市役所に行き、横断旗をもらってようやく「旗振り」となった。安全協会の役員として、登下校時の見守りを行うで、それ以外の活動には関係ないので見守り隊には参加しなかった。

その後、知事が「スクールガード」制度を導入し、警察OB組織に委託した。内容は「小中学校との連携による子供見守り隊で年間50万円の報酬がある制度」であった。子供見守り隊員で、警察OBだけが報酬を受け取る話などあり得ないので、スクールガード隊には参加していない(現在福知山にはスクールガード隊はない)。

ある日の登校時、一緒に立ってくれている校長先生が見守り隊の帽子について質問されたので「私は見守り隊でないので被りません」と説明した。翌日校長先生が帽子を持ってこられ「見守り隊に入っておられなくてもこれを被って下さい」と言われて被るようになった。また、車のマグネットもいただいた。

ある日、子供とともに歩き見守りをされている隊員を見ていると、子供の横断時に来た車を止めようと言われた。確かに横断中の歩行者がいる時は車が止まるのが規則で当たり前のことだ。しかし、車はすぐ止まるものではない。子供は車を止めようとした動作で安心して渡り始める。運転手は停止合図に気づいていないこともあり、隊員が急いで車を止めに入る危険な状態が何度かあった。

また、子供が横断中に車が来たら車の方を見ていないこともあり、子供を止めてから、車を完全に止めて子供を行かせ、運転者に「今後歩行者優先意識」を啓発する。登下校時の見守り活動は集中力が必要とされる、怪我の危険性もある。隊長さんにお世話になり、万一のためにボランティア保険に加入していただきました。安全協会はボランティア組織ではないために、役員としての活動には保険が出ませんので役員を辞めました。

今も、雨も農繁期も関係なく旗振り続けている。発足時の145人はどうなったか、またその後の参加者がどうなったかは分からない。内孫のいない私は、上六っ子見守り隊の発足以来現在まで活動をしている貴重な1人かもしれない。12年間続けられた理由は健康であったこと。更に挫折もあったが「継続は力なり」「何事もあきらめずにやり続ければ力がついて成功する」これが一番だったかも知れない。

来年、上六小学校が統合され無くなる。しかし上六っ子は居なくなる。今後どのような形になるか、誰が検討されているのか分からないが、私見を述べると現在の体制で下六学区「子ども見守り隊」平成17年結成、構成員74名の分会として加入するのが一番良いです。

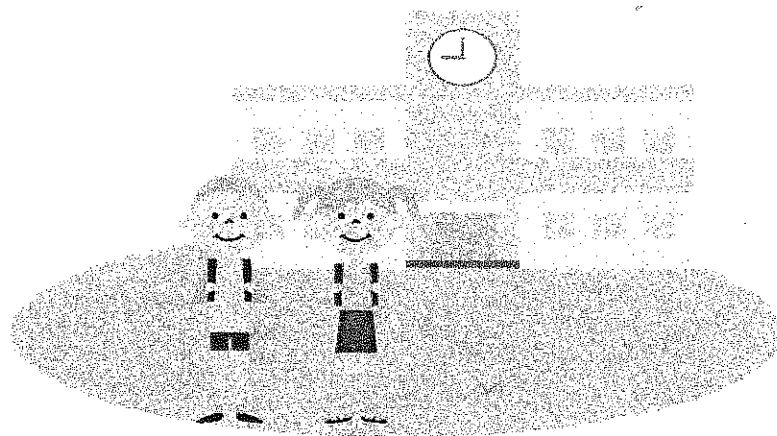
まさに「継続は力なり」。

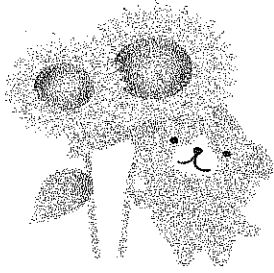
① 朝倉

② 池田

③ 孫の入学から6年卒業頃まで、始めは週に2回程度、この頃は週5回歩いています。私自身の都合から午後の迎えなしで朝の登校日のみで申し訳ありませんでした。つとめて挨拶をするよう気を付けてきましたが、六中へ通う上六小の卒業生は挨拶をしますが、これは大事なことだと思っております。挨拶に返事をする人は善人だと思っています。

④ 上六人部の小学生の皆さんは、下六人部までの学校の行き帰りにバスで通学することになり、大変なじみのあるはずの上六人部の人々や土地のさまざまなものと出会うことが少なくなるでしょう。でも自分を見守ってくれている大勢の人達のいることを忘れずに育って行ってほしいと思います。そして上六人部を大切に思っていてほしいです。





いきいきサロンのひまわりだより

私たちのサロンも3年が過ぎ今年も9月には年1回手作り弁当を提供することが出来ました。

サロンを楽しみにされておられる大槻 様からお手紙を頂きましたのでご紹介します。

今日はサロンの日楽しみにしていました。いつもお世話になり有難う御座います。私の思うままにお話しします。人間は土や砂を食べて生きることはできません。野菜や動物など生き物の命を犠牲にして、それを食べて生きていけます。命を頂いているのですから美味しいと言って食べてあげなければ可哀そうです。

人間も生きるためには、皆命がけで働いています。自身の身の回りにある物はすべて人が一生懸命に心を込めて働いた物ばかりで取り囲まれています。自分のお金を払った物だと思っても、心を込めてくれた分にまでは払っていません。ありがたいといくら感謝しても損はしません。ありがたいといつも感謝する人は健康です。

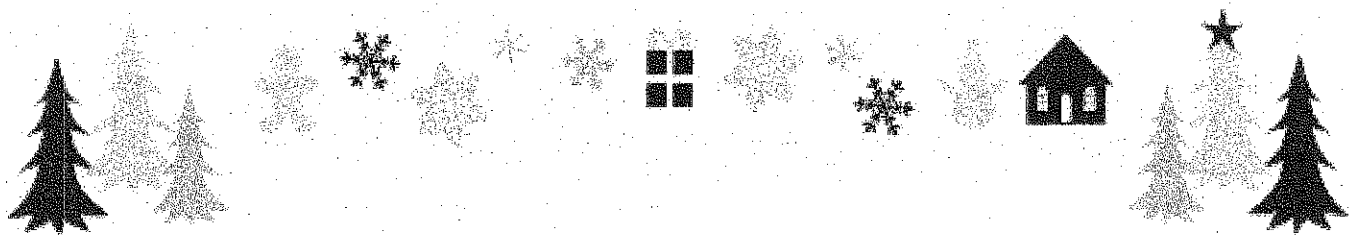
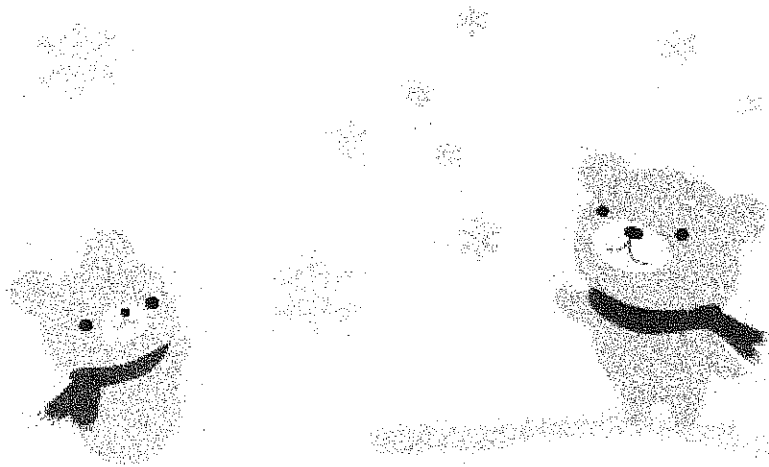
美味しいとかありがたいと言う人は人間らしさの基本であるかも知れません。喜び上手な人は愛されます。親しまれて尊敬されます。美味しいとありがたいは相手の犠牲に応える人間としての務めではないでしょうか。

何気ない日常生活の中で改めて感謝するという言葉の重みを感じるお手紙でした。

毎月第2月曜は上六サロンひまわりの日です。美味しいお菓子を作ってお待ちしています。



上六サロンひまわり 代表 大槻



編集後記

心もせわしい年の暮れ、皆様いかがお過ごしでしょうか。

上六人部小学校の閉校まで残りわずかとなりましたね。校舎、グラウンドから聞こえる元気な声、集団で元気に登下校する姿…上六人部の日常の光景が失われることに一抹の寂しさを覚えます。

地域の子どもたちと触れ合う機会も少し減るかもしれませんが、だからこそ今まで以上に子どもたちを温かく見守り、上六人部の明るい未来に繋げていきたいですね。

広報部より<福祉だより 47号>をお届けいたします。原稿等、ご協力いただきました皆様ありがとうございました。

(広報部一同)

